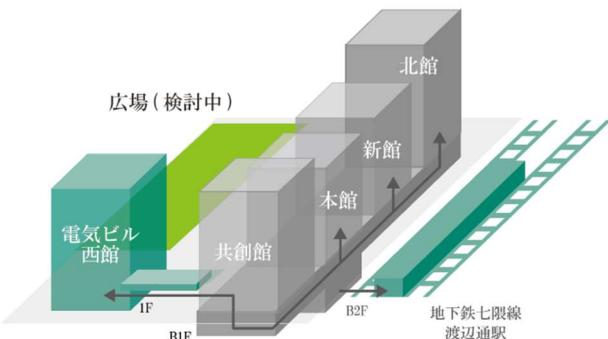


■ 電気ビル西館計画概要

1. 交通利便性とオフィスサポート機能の整うビジネス拠点

渡辺通二丁目地区はバス・地下鉄・電車の利便性に優れ、各方面からのアクセスが良好なエリアです。地下鉄七隈線渡辺通駅からは、共創館と西館をつなぐ庇により天候に左右されない快適な通勤が可能です。周辺の電気ビル各館内にはホール・カンファレンス・クリニック・飲食店を備え、様々なビジネスシーンをサポートします。

また、立ち寄りやすく、市民や来街者が利用しやすい地区内の広場整備に向け、城南線沿いにおける建物のセットバックや庇のある広場を設けるなど、まちに開かれた空間づくりを行ってまいります。



地下鉄渡辺通駅からのアクセス



1階店舗ゾーン（城南線から見たイメージ）



西館と共創館をつなぐ庇（城南線から見たイメージ）

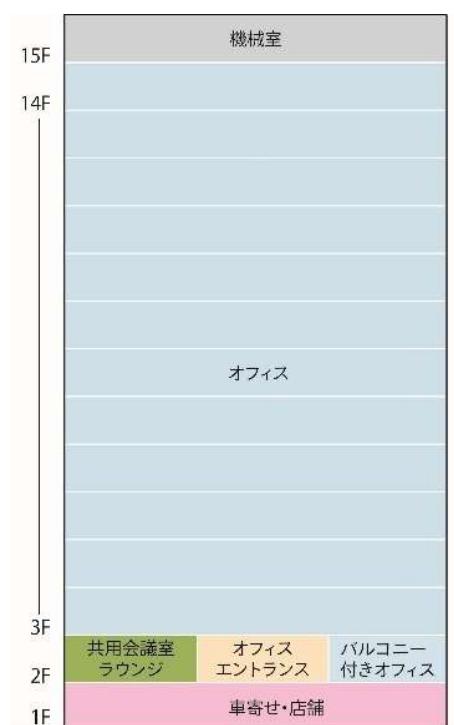
2. 渡辺通において希少な新築オフィスビル

3~14階に貸室面積約540坪のオフィスを整備、最大8区画まで分割可能な整形無柱空間であり多様なニーズに対応します。

2階にはバルコニー付のオフィス区画やワーカー向けラウンジを設け、開放的で心地よいワークスタイルを実現します。



ワーカー向けラウンジ



用途構成

3. 脱炭素などの取組み

断熱・遮熱性に優れた Low-E ガラスや高効率機器の採用により省エネを推進、オフィス部分において ZEB Oriented 認証を取得予定です。

電気ビル西館には、九電グループ一体で取り組むオフサイト PPA^{※1}による再エネ由来の電力供給を予定しており、持続可能なまちづくりに取り組みます。

緑豊かな空間の創出を目指し、外構には高木中心の緑化だけでなく、建物の各階バルコニーにも植栽を配するなど、福岡市が推進する「都心の森 1 万本プロジェクト^{※2}」に貢献します。

■ 位置・アクセス



位置図

■ 事業概要

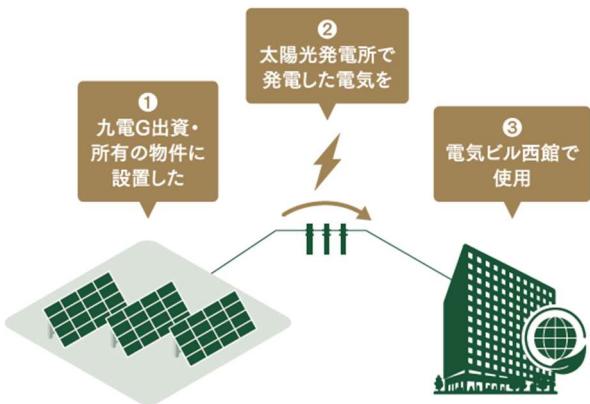
所在地	福岡市中央区渡辺通 2-1-82
敷地面積	約 4,885 m ²
構造・規模	鉄骨造 地上 15 階
延べ面積	約 35,561 m ²
用途	事務所、店舗、駐車場
着工・竣工	2026 年 2 月 5 日着工 ・ 2028 年 3 月竣工 (予定)
事業主	株式会社電気ビル、株式会社十八親和銀行、アリウェル株式会社
設計者	三菱地所設計・西日本技術開発・竹中工務店設計共同体
施工者	(建築) 竹中・松尾・松本特定建設工事共同企業体 (設備) 株式会社クラフティア (昇降機) 三菱電機ビルソリューションズ株式会社

※本資料に記載のパース等は現時点でのイメージであり、今後の設計や関係官庁との協議等により変更が生じる場合があります

※1 オフサイト PPA

発電事業者が発電設備をお客さまの敷地外に設置・所有、送配電網を経由し小売電気事業者を通じて電力を供給するサービス

([2025年8月20日付九電グループ関連リリース参照](#))



オフサイト PPA スキーム

※2 都心の森1万本プロジェクト：

ビルの建替えにより、まちが大きく生まれ変わっていく中で、緑が持つ魅力により、まちに「彩り」を加え、憩いや安らぎが感じられる空間を創出するため、市民や企業と共に働き、新たに樹木を植え、今ある緑をより美しくするとともに、民有地における緑化誘導により、良好な都市景観の形成や都市環境の改善を図り、緑豊かなまちづくりを推進するプロジェクト

